# 炎と女（1967）

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ
**製作国** 日本
**色彩** B&W
**時間** 102分
**初公開日** 1967/12/01
**公開情報** 松竹

**【解説】**
人工授精をテーマに、吉田喜重が斬新かつ洗練された画面構成で描く心理サスペンス。伊吹真五と立子の間には、一歳七ヶ月になるひとり息子の鷹士がいた。しかし鷹士は人工授精によって生まれた子であり、真五の実の子ではなかった。伊吹家には人工授精の手術を担当した藤木田、そして精子の提供者である坂口と妻シナが出入りしていた。鷹士が真五の子供でないことはみんなが知っていたが、シナは自分の夫である坂口と立子が姦通したために鷹士が生まれたのだと思い込んでいた。

**【クレジット】**
**監督** 吉田喜重
**製作** 織田明
**脚本** 山田正弘
田村孟
吉田喜重
**撮影** 奥村祐治
**美術** 佐藤公信
**音楽** 松村禎三
**出演** 岡田茉莉子
木村功
小川真由美
日下武史
細川俊之
北村和夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.